



オトコエシ

(2006年8月25日 撮影)

8月^{がつちゅうじゆん}中旬から9月^{がつじょうじゆん}上旬ごろ、林^{はやし}や林道^{りんどう}の^{てきど}ふちなど、^ひ適度に^あ日の^{ばしょ}当たる^{めだ}場所に^さ目^{はな}立たず咲いて^{はな}いる花^{はな}です。

「秋^{あき}の七^{ななくさ}草^{ゆうめい}」で有名^{ゆうめい}な「オミナエシ」と、色^{いろ}が違^{ちが}う^にだけで、よく似^にた形^{かたち}をして^います。泉ヶ岳^{いずみがたけ}では、オミナエシ^みよりは見^みか^きける機^き会^{かい}は少^{すく}ない^{すく}です。

名^な前^{まえ}の由^ゆ来^{らい}は、「女^{じょ}性^{せい}のよう^うに美^{うつく}しいオミナエシ^{うつく}に比^{くら}べて、た^たくま^{だんせい}しい男^{だんせい}性^{てき}的^{てき}だ^{せつ}から」とい^いう説^{せつ}や、「昔^{むかし}、白^{しろ}い飯^{めし}を食^たべる^{だんせい}のは男^{しろ}性^{めし}だ^{しろ}った。その白^{しろ}い飯^{めし}に見^み立^たてて名^なづ^{せつ}けた」など、い^いろい^ろいな説^{せつ}が^あり^ます。



花の部分のアップ